



# F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：谷戸の主役は？



小田急江ノ島線六会日大前駅から西に車で5分。住宅街を抜けると、のどかな風景が現れました。車を降りてさらに歩いて進むと、木々の間にこぢんまりとした田んぼがあります。「同じ藤沢市内なの？」住宅地から道を一本入っただけで、普段の市街地での生活では感じられない空気が漂います。

ここは石川丸山谷戸です。小学校で習う社会科の副読本「ふじさわ」にもある古くからの原風景、初夏にはホタルが見られる自然豊かな谷戸が、藤沢市のちょうどまんなかにあります。見学に伺った日は秋晴れで、丸山谷戸援農クラブ（以下、MYEC）のメンバーが地域の親子連れと一緒に稲刈りをされています。

した。MYECは、「良い汗を流そう」という趣旨通り、全て機械を使わず手作業で稲刈りをされていました。

そんな石川丸山谷戸ですが、活動開始前の25年間は放置され、田んぼは荒れて多くのごみが不法投棄されていました。また、この土地の地権者はMYECではなく、本来は勝手に出入りして自由に活動することができません。地権者が団体メンバーではない市民活動は全国に多くありますが、どの団体も継続的に活動することに困難を抱えています。

今回は、継続的に活動されているMYEC代表の樋口さんに、支援施設サポーターがお話を伺いました。（つづく）





## ■ 谷戸の主役は？

＜原風景が残る活動スタイル＞

今ではホタルをはじめとする生きものの宝庫となっている石川丸山谷戸ですが、ホタル保全のために活動がスタートした訳ではなく、「田んぼをやってみたい」という気持ちがきっかけだったと樋口さんは振り返ります。農業経験がなく、失敗もあり、たくさん苦労したけれども、苦労よりも「サラリーマンの競争社会から一歩外れて活動できることが楽しかった」そうです。活動初期は農業を使っていましたが、谷戸と対話をしていくうちに無農薬で手作業の農業へと辿りつき、昔ながらの景色が残るようになりました。「やってみたい」という気持ちはやがて「自然（谷戸）を守りたい」という気持ちになり、その純粋な気持ちが地権者に伝わっていくことで、谷戸での活動への理解と団体への信頼を得ていきました。

＜礼を尽くす姿勢・気遣い＞

地権者から信頼が得られる理由は他にもたくさんあります。「人様の土地をご厚意で使わせて貰うのだから、大人数で勝手な事とならないよう、地権者さんのお気持ちを第一に、を心掛けている」、「作業をする事前に何人で行きますとお伝えしている」、「収穫祭などの際に地権者さんと交流をする」、「地権者のものだから、勝手に敷地内の栗を拾ったり、柿をとったりはしない」。これらの礼を尽くす姿勢や気遣いの積み重ねがあって信頼関係ができています。さらに、地権者による「石川丸山蛭保存会」が設立され、クラブも会員として加入、協力しています。「自分たち



が主役ではない、愚直なまでに礼を尽くす姿勢」に、私たち支援施設サポーターも心を打たれました。

＜谷戸のこれから＞

設立から約16年を経過したMYECですが、他の市民活動団体と同様、会員の高齢化という問題に直面しています。「地域の小学校と連携して単発ではない年間を通じたイベントを開催することで、これからの子どもたちに谷戸への関心を持ってもらいたい」と希望を樋口さんは語っていました。

また、藤沢市が2015年に、「自然環境の保全と谷戸全体の利用をし、次世代に引き継ぐ」ことを目的に『石川丸山緑地保全計画』を策定したように、この谷戸の貴重な自然環境に対する関心は高まっています。

市街化が進む地域の中にこれだけの環境が維持・保全されていることは大変素晴らしいことです。ただ、多くの人が長年にわたって努力して実現していることを忘れられてはならないと、取材をされていて感じました。今後、この地域がどう変わっていくのか、大きな関心をもって見守りたいと思います。

（取材・記事執筆：支援施設サポーター F-wave 班）

## 団 体 紹 介

### 丸山谷戸援農クラブ (MYEC)

設立：2006年

代表：樋口 弘之

TEL: 0466-83-2374

※担当：岩村さん

藤沢市石川丸山谷戸地区の休耕田を地権者と共に復活させることを中心に、里山の保全と地域の活性化を図っている団体です。

石川丸山谷戸の畑、田んぼでの農業や、田んぼ周辺の林の手入れなどに取り組んでいます。



10月25日から11月3日までの期間、藤沢市役所1階ラウンジにて、市民活動パネル展を実施しました。今回は特に工夫を凝らしたパネルが多く、見た目にも楽しい展示になりました。

展示の参加団体向け説明会では、関心を持ってもらやすいパネルづくりのコツについてもご説明しました。今回はその内容をお伝えします。

#### 目を惹く

手にとってもらえるチラシの条件でもありますが、興味を持ってもらうだけの印象の強さが必要です。写真などを大きく使う、印象的な配色をするなどが一般的なやり方ですが、立体的な表現を取り入れるなどの工夫のしどころもあります。

細かい文字で埋め尽くされていると、近寄り難くもなります。まずは認識してもらう、興味を持ってもらうことが大事になります。

#### 伝わる

パネル展示を含む広報には、何らかの目的があります。会員を増やしたい、イベントに来てほしい、活動について知ってほしいなど、目的に沿った内容をきちんとパネルに織り込むことが大事です。イベントであれば実施日や会場が分かり、申し込み方法が分かるようにするなど、必要な情報が認識しやすい配置に整理されている方が望ましいです。

#### 次につながる

展示した効果は、目的に沿った内容がパネル内にあっても、見た人がアクションを起こしやすい工夫があるかどうかにか左右されます。分かりやすい工夫としては、イベントや会員募集であれば申込ページへのQRコードをつけるなどが考えられます。当施設のパネル展示の場合、チラシ用ポケットをパネルにつけてもOKですので、直接手にとってもらえるようご案内するのも有効です。

パネルやチラシ、SNSなど、手段を変えれば有効な表現も変わってきます。パネル展示の場合、「特定の場所で見える」という条件から必要になることをお伝えしました。ただ、現在ほとんどの人がスマートフォンを持っていますので、こういった形の広報にせよ、QRコードなどでWebページへ案内することは忘れずに盛り込むといいでしょう。

なお、パネル展示は終了しましたが、掲載ページはそのまま公開しています。QRコードのリンク先からぜひご覧ください。(せ)



## 日本ボランティア・NPO・市民活動年表



大阪ボランティア協会ボランティアリズム研究所の「日本ボランティア・NPO・市民活動年表」の増補改訂版が届きました。ページ総数1,100p、5.5cmの超大作です。2014年初版から8年が経ち「ボランティア・NPO・市民活動」業界の動きは目まぐるしく、増えた分野は「ジェンダー」「地域づくり」「復興支援」「反戦」の言葉は「平和」とともに年表が作成され、「支援組織」と「支援行政」は、別の分野となりました。これだけでも、社会の動きを反映している感があります。

初版を読みだしてから、市民の自主的な活動の江戸時代末期からの動きをつぶさに知ることができ、納得のできる事象や現代の活動のルーツなど、読むたびに今でも新しい発見があります。時代区分は、大きく3つに分けてあり、創生期(明治維新～第2次世界大戦終結まで)、成長期(第2次世界大戦終結～NPO法成立まで、増補版ではバブル崩壊まで)、発展期(増補版では展開期)(NPO法成立以後、増補版ではバブル崩壊～現代まで)としています。特に、創世記からは、歴史の教科書にもなかった事象が数多く記載されており、先人の多様な運動や活動が持つ、民衆の生活に根付いた深い歴史と思想によって紡がれていることを学びました。長く続いた町民互助社会であった、江戸時代の幕引き前夜から明治・大正・昭和と続く市民活動等創世期の動

きは、現代の市民活動等のある意味幕開けだったのではないかと思います。

増補版を手に取り、「はじめに」をまず読みました。「市民による多様な運動や活動は民衆の生活に根付いた深い歴史と思想を持っている」という文章が目にとまりました。続いて「本書には、現在よりはるかに困難な状況の中で持続的に困難に立ち向かい、現在の市民活動の権利を勝ち取った人々の経験やそこからくる知恵が、豊かに息づいている。戦前においても、人々は決して単なる「臣民」として受動的に権力に従い忍従してきたのではなく、ともに手を取り合って歴史を作り上げてきた。」とあり、「市民活動の年表は、市民によって作られて続けていくべきであって、その作業には読者の参加が必要である」ともあります。これからの年表に新しい動きを創り出すのは、今動いている皆様なのです。

市民活動推進センターの図書コーナーには、初版と増補改訂版があります。ぜひ手に取って興味のある所だけでも読んでみませんか。今後の活動のヒントが見つかるかもしれません。(て)





# 講座・イベントの

## ごあんない

イベント

日時

■身近なSDGs セっけんでトライ！大掃除	11月29日(火)	10:00～12:00
■IT 講座「パワポでプレゼン講座」	12月12日(月)	13:30～16:00
■「クリスマス交流会」	12月18日(日)	15:00～16:30
■市民活動団体におけるSDGs 認知度・活動調査	11月10日(月) ～	12月10日(土)

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

### ■IT 講座「パワポでプレゼン講座」

活動を知らない方に向けた自組織の紹介や助成金申請等のプレゼンテーション資料づくりに役立ちます！団体の魅力を伝える「プレゼンテーション」について学び、共感を得るための手法を学びましょう！

日時 12月12日(月) 13:30～16:00

会場 藤沢市市民活動推進センター会議室

内容 プレゼンテーションのコツ・使い方／プレゼンテーション実践

受講料 1,000円(資料代含む)

対象 NPO・市民活動・地域活動に関わっている方で、

Power Point を使用している方、使用予定の方

定員 10名(先着順・貸出PC5台まで)

講師・運営 藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ IT サポーター



### ■身近なSDGs セっけんでトライ！大掃除

年末の大掃除を機会に、環境に影響の少ないせっけんを生活に取り入れる体験をしてみよう。水筒、換気扇など汚れの気になるものがありましたら、ぜひお持ちください！

日時 2022年11月29日(火) 10:00-12:00

会場 藤沢市六会公民館2階調理室

講師 藤沢市せっけん推進協議会

対象 誰でも 定員 15名(先着順)

参加費 無料 持ち物 汚れが気になるもの

お問い合わせ 藤沢市市民活動プラザむつあい



### ■「クリスマス交流会」

様々な世代・活動をされている方が参加される交流会！「団体PR・会員募集・他団体の活動を知る・NPOを知るきっかけ」として、ぜひ本イベントをご活用ください！

日時 2022年12月18日(日) 15:00～16:30

会場 藤沢市市民活動推進センターフロア

料金 無料

対象 市民活動を行っている団体や個人。興味のある方。

定員 30名

主催 藤沢市市民活動推進センター



### ■市民活動団体におけるSDGs 認知度・活動調査

今年度も当施設調査研究事業へのご協力、よろしくお願いいたします。登録団体および市内NPO法人の皆さまにおかれましては、本情報誌に同封した調査票をご覧ください。また、QRコードのリンク先にあるフォームからでも回答いただけます。

ご注意：例年、返信用封筒を調査以外の目的に流用される事例が発生しております。封入物は調査票のみにしていただけますよう、お願い申し上げます。

期間 2022年11月10日(月)～12月10日(土)

対象 主に藤沢市内で活動しているNPO・市民活動団体

お問い合わせ 藤沢市市民活動推進センター



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

※ビル名が変更になりました

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体）

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です！